



仲よし3姉妹で旅行に♪

同居の姉・恵梨さん、妹・美由紀さんとは大の仲よし。自由時間におしゃべりしたりゲームをしたり。旅行にも出かけます。

閑散期には家族揃って旅行

梨作りは4月初旬から中旬にかけて行われる「交配」からスタート。梨の花一つ一つに花粉をつけて人工授粉させる作業です。花が満開の間に作業を終えなくてはいけないため、1年で最も忙しく、花粉症を患う佑希子さんにとっては特につらい時期ですが、美味しい梨を作るために、病院で注射を打ってもらい、マスクをして乗り切ります。

8月～10月の収穫時期には、主に選果を担当。午前中はJAの選果場で組合の作業を手伝い、終わるとすぐに自分の畑に戻って勇さんと喜久画さんが収穫した梨の選果を行います。「変形していないか、傷がないかを丁寧にチェック。本当に小さな点も虫食いだったので、見逃さないように注意しています」と佑希子さん。

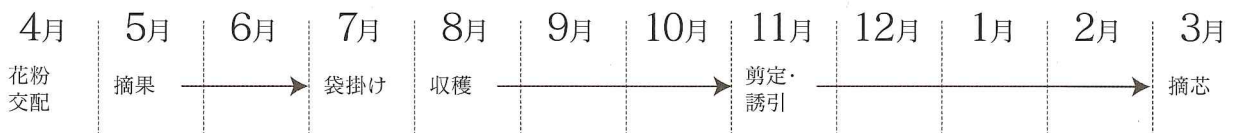
梨農家を継いで良かったことを尋ねると、「出勤時間が決まって

いないので、少しくらいなら寝坊をしても大丈夫なことかな。朝はあまり強くないので」と苦笑い。繁忙期を除けば仕事の合間に自由な時間が確保できること、収穫作業が始まる前の閑散期には家族揃って旅行に出かけるのも楽しみの一つだと教えてくれました。

現在は幸水、豊水、新高、あきづき、愛宕、夏しずくの6品種を栽培していますが、中でも佑希子さんが「今後増やしていきたい」と考えているのが、あきづきです。「甘くてシャッキリとした食感ですごく美味しくて。選果の時に一番美味しそうなあきづきを取っておいて食べるのが密かな楽しみなんです。たくさんの人に食べてもらいたいと思います」と佑希子さん。家族みんなで助け合いながら、梨作りを続けていきたい。それが佑希子さんの夢です。



年間スケジュール



1日のスケジュール(10月)

